

まちの応援マガジン いなわしろ

広報 猪苗代

Dec.2011
12
No.614

Proud!

東日本大震災の復興を支援しよう

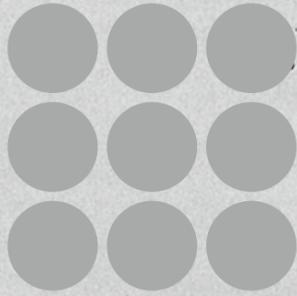
Japan



特集

不変の羅針盤

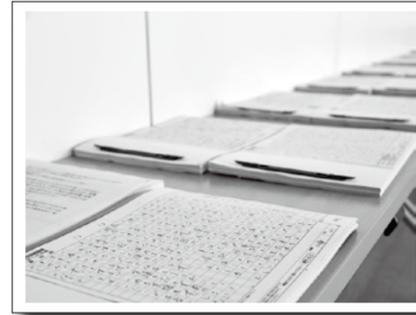
特集 不変の羅針盤



宮内卿法印保正之公

今年、
会津藩祖保科正之公が
生まれてから、
ちょうど400年の
節目の年。
会津藩の礎をつくり、
本町とも関わりの深い
正之公。
徳川幕府、会津藩の
羅針盤として
民衆を守ることが第一に考え
見事なリーダーシップを
発揮し名君と呼ばれた。
数々の功績を残した
正之公の人柄や手腕から
私たちが現代を生きぬく
教訓を探る。

保科正之公 (土津神社所蔵 写真協力/福島県立博物館)



Pick Up 今月のイベント

第10回 母から子への 手紙コンテスト

第10回「母から子への手紙コンテスト」の表彰式は12月4日、学びいなかで開かれました。応募総数1828点の中から、町内のお母さん76人と最終選考委員の玄侑宗久さん、大石邦子さん、末利光さん、小林光子さんの4人が選んだ50点の入賞作品が決まりました。大賞を受賞した菊池さんの作品は、思わず涙があふれる感動作。学びの泉で紹介していますので、ユーモアにあふれる準大賞の作品を紹介します。

準大賞

芦田朝子(東京都)

息子よ、『鈍子』を『ギョーザ』と読み、『福沢諭吉』を『福山まさはる』と書いた息子よ。AKBのメンバーの名前は全部言えるのに、都道府県名は覚えられないのはなぜ。テストを見るたびに、母は泣けてきたよ。でも、いいんだ、息子よ。あなたが初めて数学で四十点をとった日に、母は学んだ。あの日、母が帰ると、玄関の外の扉に四十点のテストが貼ってあった。母は感動した。普通、四十点を貼られるのは罰ゲームだろう。九十点でもくやしがる子がいるというのに、四十点を誇らしげに貼るあなたは、大した奴だ。成績は絶対評価だ。パーセントで上から割り当てられる。でも幸せは絶対評価だ。これでよし、と思ったら百パーセント幸せなんだ。あなたは、「四十点しか」を「四十点も」と言える幸せな男だ。息子よ。あなたには、幸せになる才能がある。母がそれを保証する。もう、そのまま突き進め。

まちの応援マガジン いなわしろ

広報 猪苗代

Dec.2011
12
No.614

今月の表紙



今日は練習の成果を見せる発表会。パパやママ、おじいちゃんやおばあちゃんも見に来てくれてうれしいな。ちょっと緊張してるけど大丈夫。いっぱい練習したから、きっと上手にできるよ。

川桁保育所保育発表会

【撮影日】 12月3日
【撮影場所】 学びいなか

Contents — 【目次】

- 02 PICK UP
- 03 特集
不変の羅針盤
- 18 自治功労者表彰式・合同表彰式感謝状伝達式
- 20 町の元気を内外に発信
- 22 スクールトピックス & ニュース INAWASHIRO
- 24 まちのわだい
- 26 笑顔でこんにちは/善意をありがとうございました/保健だより
- 28 学びの泉
- 30 いなわしろタウンページ
- 34 暮らしの情報広場
- 36 みんなの美術館/食生活改善推進員コーナー

名君 保科正之公の生涯

徳川2代将軍秀忠公とお静の方の子として生まれた後、正之公はどんな人生を歩んだのか。名君と呼ばれた人格は、どのような環境で形成されていったのか。正之公の生涯を振り返る。



高遠城
春になると桜が咲き誇る高遠町の名所
(長野県伊那市高遠町)



高遠藩主 保科正光
正光は、建福寺の鉄舟和尚を学問の師に、有能な藩士を守り役につけ、幸松を育てた
建福寺(会津若松市)所蔵写真協力/会津若松市



山形城
山形時代は、秋田の佐竹氏、米沢の上杉氏、仙台の伊達氏など反徳川勢力の押さえとなった(山形県山形市)



若松城
正之公は、会津藩に入封すると次々と政令を出し、武家だけでなく、民衆のための制度改革に取り組んだ。学問も奨励し、庶民の学問所、稽古堂は、無税の上、年に2両の修理費も支払われた(福島県会津若松市)

保科正之は慶長16(1611)年、徳川2代将軍秀忠と静(後の浄光院)の子として生まれた。側室を持たなかった秀忠は、乳母・大姥殿のもとに通ううちに侍女として仕えていたお静を見初め、寵愛したと言われている。お静は、秀忠の正室・お江与の方の怒りを恐れ、武田信玄の娘・信松院のもとで正之(幼名幸松)を出産。その後、お静と幸松は、信松院の姉・見性院のもとでかくまわれて育てられた。成長した幸松の身を案じた見性院は、7歳になった幸松とお静を信州高遠藩藩主、保科正光に託した。正光は、秀忠の内諾を得て幸松を養子として迎える。民政に篤い正光とその部下の教育が、後の正之の人格に影響したことは想像に難くない。

寛永8(1631)年、正光が没すると、幸松は名前を正之と改め、高遠藩3万石の2代藩主となった。翌年、実父、秀忠が逝去。義兄の家光が3代将軍の地位に就いた。家光は弟、正之を日光社参りや明正天皇即位祝賀の上洛に随行させるなど、ことのほか気にかけて。この辺りから正之は、世に將軍の子として認められていった。

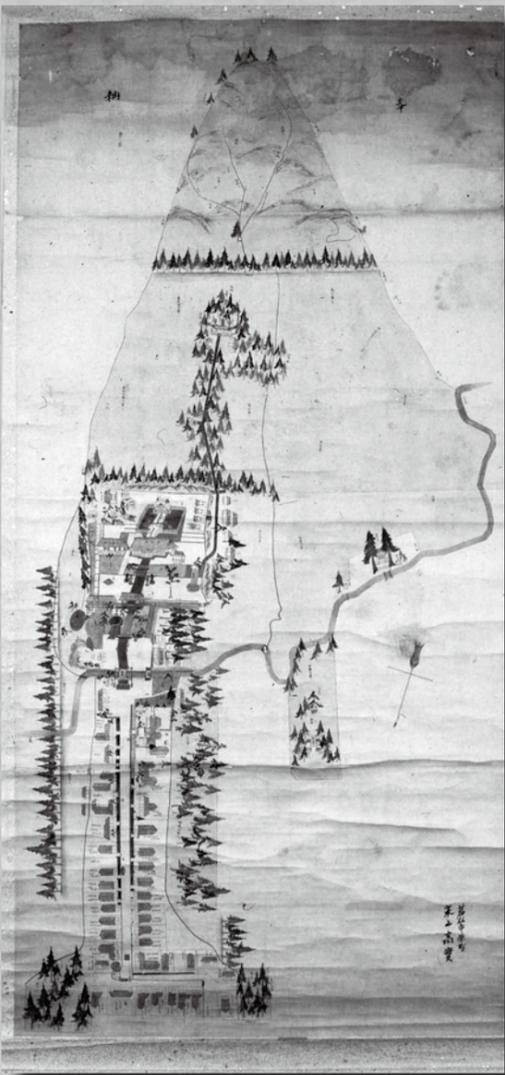
このことを一番に喜んだ母、浄光院だったが、寛永12(1635)年に病のため逝去。正之は愛する母を高遠町の長遠寺に葬り、名を浄光寺と改めた。その後、正之は移封される先々に浄光寺を建立し、母への祈りと感謝の気持ちを生涯忘れなかった。

寛永13(1636)年には出羽山形藩20万石を拝領。高遠時代からの家臣や新たな土官希望者とともに内政を確立。当時、幕府の力が十分に及ばなかった東北で、徳川家の拠点となった。このような実績が認められ、寛永20(1643)年、東北の要、会津藩に入封された。会津の23万石のほか、南会津の5万1200石余りを私領同様として預けられた正之は、名実ともに徳川御三家に次ぐ大名となった。以後、正之の子孫の会津松平家が幕末まで会津藩主を務めた。

正之に絶大な信頼を寄せていた家光は、死に際に正之を枕元に呼び寄せ「肥後(正之)よ宗家(徳川家)を頼みおく」と言い残し、4代将軍家綱の後見役に指名した。

保科正之公の略年表

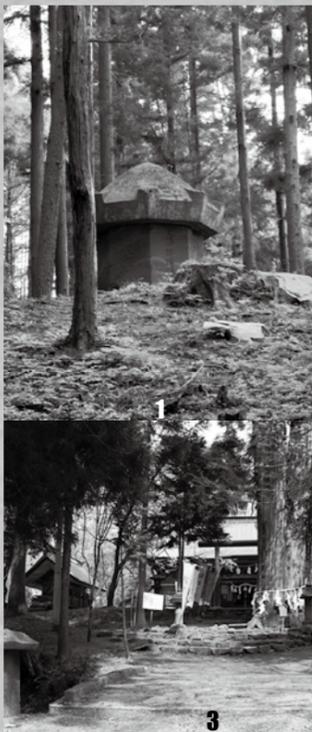
- 慶長16(1611)年
5月7日、徳川2代将軍秀忠とお静の方の子として江戸に生まれる。幼名は幸松。
- 元和3(1617)年
信州高遠城主、保科正光の養子になり、高遠に移る。
- 寛永8(1631)年
養父、保科正光が江戸で没する。名前を正之と改め、高遠藩3万石の藩主になる。従五位下の爵位を拝命、肥後守を襲名する。
- 寛永9(1632)年
実父、2代将軍秀忠が没する。母、お静の方は仏門に入り、名前を浄光院と改める。
- 寛永12(1635)年
実母、浄光院が没する。高遠の長遠寺に葬り、名を浄光寺と改める。
- 寛永13(1636)年
山形藩20万石の藩主になる。
- 寛永20(1643)年
会津藩23万石の藩主になる。朝鮮通信使来朝。正之が応接の役を担う。
- 生保2(1645)年
左近衛権少将を受任、家綱の元服で烏帽子親を勤める。
- 慶安4(1651)年
三代将軍家光が危篤に陥る。將軍嗣子家綱の後見役を正之に依頼し没する。
- 承応元(1652)年
軍制改革を実施。新たに軍令・軍禁・家中掟・道中掟を定める。幕府儒医土岐長元に命じ、「輔養編」を編さんさせる。
- 承応2(1653)年
4代将軍家綱に代わって上洛。従三位中将を下されるも、家綱に献上、正四位下だけを受ける。
- 承応3(1654)年
玉川上水が開削される。
- 明暦元(1655)年
社倉制を実施する。
- 明暦3(1657)年
江戸で明暦の大火がおきる。江戸城、会津藩芝屋敷が焼ける。回向院建立。米蔵解放。正之の嗣子正頼が没する。
- 万治2(1659)年
正之の意見で天守閣のない江戸城を再建。



土津神社絵図 (土津神社所蔵・福島県立博物館寄託 写真提供/福島県立博物館)



2 晩年の正之公 (土津神社所蔵・写真協力/会津若松市)
3 磐梯神社 (猪苗代町)



1 正之公の墳墓 (会津松平家墓所・国指定史跡)

会津の守護神、正之公に思いを はせて



土津神社 宮司
宮澤 重正 さん

猪苗代には、磐梯山の総鎮守磐梯神社がある。延喜式の古い神社で、会津若松市の蚕養国神社や会津美里町の伊佐須美神社と同じく千数百年の歴史がある。町民の信仰の対象は、古くから磐梯神社だった。

正之公は藩内の神社仏閣の整備を行うなど神仏を大事にした人物。自身を磐梯神社の近くに埋葬するように遺言している。磐梯神社へ続く参道には、高遠以来の家臣である田中正玄の墓もある。信頼を寄せた家臣と共に眠りたい。そんな思いもあったのかもしれない。数十年前、土津神社を参拝する町民は少なかった。正之公は、猪苗代だけではなく、会津全体のお殿様。会津の守護神として土津神社に祭られた。つまり、土津神社は会津の総鎮守である。そのため、一般の町民は恐れ多いと感じて、参拝しづらかったのではないかと、今年、正之公は生誕400年を迎えた。昨年から記念事業などと相まって、正之公に対する注目は徐々に高まっている。町民の皆さんも神社を訪れ、私たちの殿様の功績に思いをはせてほしい。

その他にも、危機に備えて米を備蓄する社倉制(危機管理制度)を実施。領内で旅人や商人が病気になるたら医療を施すこと(救急医療制度)や90歳以上の者には生涯扶持米を支給すること(年金)など近代日本の社会保障制度の礎をつくった。乞食を集めて職業訓練を実施するなど、さまざまな社会福祉政策も実施した。

民衆の生活を第一に考え、時代に合わせた独自の政策を展開した正之。その強力なリーダーシップは、会津藩の人口を大幅に増やし、国力を充実させた。晩年、神道に入った正之は、師の吉川惟足から神道最高の奥秘を伝授され「土津霊神」の靈号を授けられた。これが土津神社の名前の由来となっている。寛文12(1672)年、会津に戻った正之は、磐梯神社を参拝し、近くの見祢山を寿藏地に定め、自身をこの地に埋葬するよう家臣に命じた。同年、12月18日、正之は会津藩下屋敷箕田邸で惜しまれつつこの世を去った。享年62歳だった。

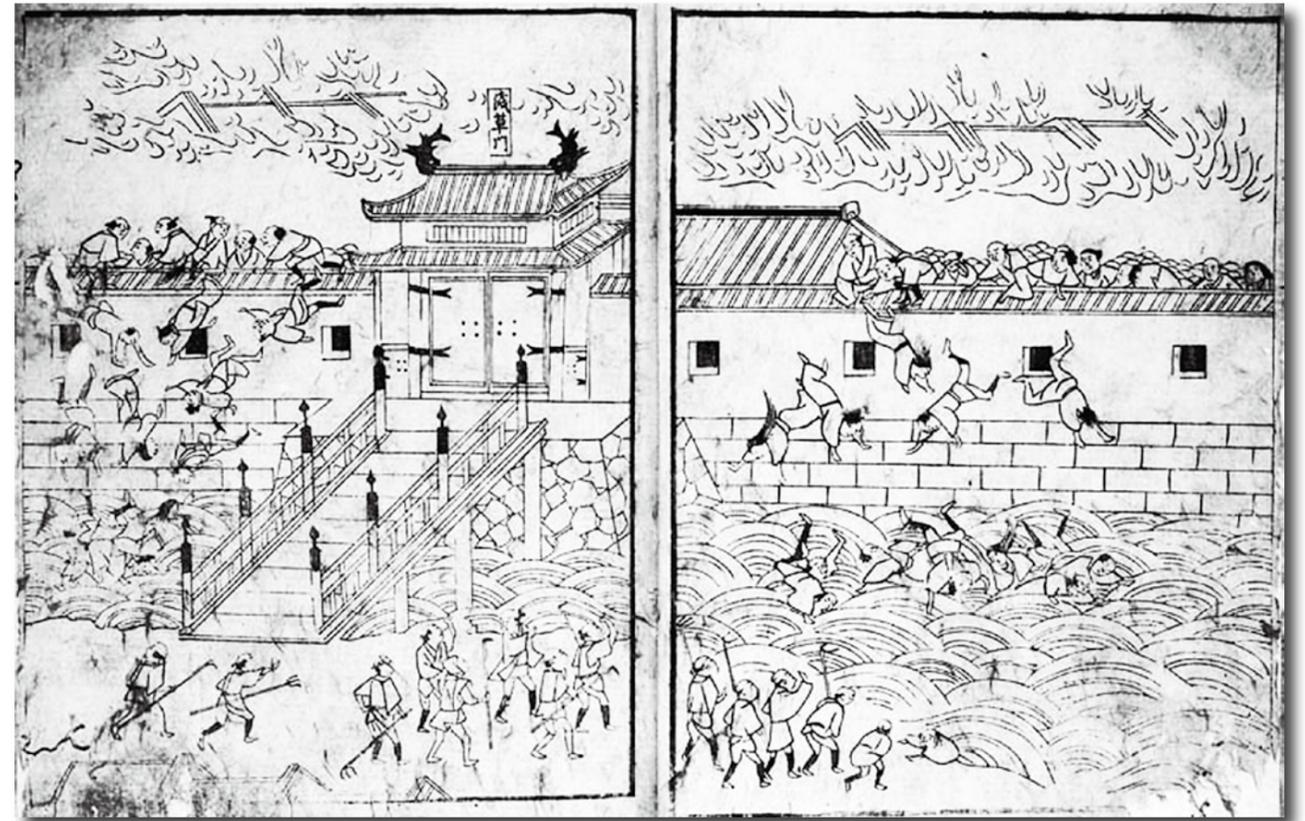
- 寛文元(1661)年 会津において殉死を禁じる。この年初めて吉川惟足に神書を講じさせる。
- 寛文3(1663)年 領内の90歳以上の高齢者に口米を給付。
- 寛文4(1664)年 民間学校・稽古堂を開校。米沢藩、正之の奔走で改易を免れる。
- 寛文8(1668)年 將軍から松平姓と葵の紋の使用を許可されるが正之は辞退。会津藩家老田中正玄を江戸に呼び「家訓十五カ条」を授ける。
- 寛文10(1670)年 23年振りに会津に帰国
- 寛文11(1671)年 吉川惟足から吉川流四重奥秘を伝授され、土津霊神の靈号を授けられる。
- 寛文12(1672)年 会津に帰国、磐梯神社を参拝し、寿藏地を見祢山に定める。12月18日未明、正之、箕田邸で没する。享年62歳。
- 延宝元(1673)年 3月27日、正之見祢山に埋葬される。
- 延宝2(1674)年 土津霊神碑が完成する。
- 延宝3(1675)年 土津神社が造営される。土田堰が完成。入植が始まる。
- 慶応4(1868)年 戊辰戦争で土津神社が焼失。御神体を磐梯神社に移す。
- 明治5(1872)年 土津神社の社地と立ち木などが民間に払い下げられるが、翌年、有志の募金で買い戻す。
- 明治13(1880)年 土津神社社殿が完成。ご神体を移す。
- 大正4(1915)年 土津神社増改築が終了。社格の昇格運動を実施。
- 昭和47(1972)年 保科正之公300年祭を挙げる。
- 昭和62年(1987)年 正之公の墳墓と土津神社一帯が国史跡指定を受ける
- 平成23(2011)年 保科正之公生誕400年祭を挙げる。



1. 学びいなどで開催された「保科正之公生誕400年記念パネル展」。町内はもとより県内外から多くの人々が足を運んだ。写真は退職後などに活躍する「地域のリーダー」を育成するため学習をする会津若松市河東公民館の「わくわく夢塾」のメンバー。参加した17人は「猪苗代の偉人を考える会」の鈴木清孝さんから説明を受けながら、正之公の功績などについて学んだ。

2. 日本初の上水道として完成した玉川上水の取り入れ口（東京都羽村市）。正之公の時代から有効に利用され、現在でも一部が東京都民に飲料水を提供している。

3. 江戸城天守閣跡（東京都千代田区）明暦の大火後、再建されなかったせいか、江戸城に天守閣があったことはあまり知られていない



明暦の大火当時の浅草門。牢獄からの罪人解き放ちを「集団脱走」と誤解した役人が門を閉ざしたため、逃げ場を失った多数の避難民が炎に巻かれ、堀を乗り越えた末に堀に落ちていく様子（「むさしあぶみ」より東京都立中央図書館特別文庫室所蔵）

正之公に学べ

江戸時代最大の大火事「明暦の大火」。
東日本大震災の被害に見舞われた今年、
江戸時代の災害対応やその後の復興策に、にわかに注目が集まった。
その中心にいたのは正之公。
民衆の暮らしを第一に考えた正之公の施策などから、
私たちが学ぶべき事とは

あったが（例えば町屋では間口1軒につき3両1分）、合わせて16万両もの金が民衆の生活を支えるためにつき込まれた。その後も、参勤交代で江戸にいた大名たちを国に帰し、江戸の人口を一時的に少なくすることで米価や材木の価格の高騰を抑えるなど、斬新な発想で江戸の復興に努めた。

防火対策としては、上野広小路のような道路の拡張、延焼防止帯や火除地などを設置した。そして、災害時の迅速な避難のため橋を増設し、同時に橋を火災から守る火除地の設置、近くには避難場所となる緑地も設けた。また耐火建築として、土蔵造や瓦葺屋根などを奨励するなど、災害に強いまちづくりに取り組んだことも特筆すべきだろう。

定火消制度が創設されるとともに、町人たちの間で自主的防火組織が発足したのもこの大火の後だった。

大火で被災した江戸城の復旧では、天守閣の再建をめぐって老中たちと真つ向から対立した。天守閣の再建が急務であると主張する老中たちに対し、正之公は「江戸の復興と民政の安定こそが重要。無用の長物に金をかけるべきではない」と主張。結局、天守閣は再建されず、現在

明暦の大火からの復興

明暦の大火は、明暦3（1657）年1月、江戸で発生した大規模火災。外堀以内のほぼ全域、天守閣を含む江戸城、多数の大名屋敷や市街地の大半を焼失した。江戸の6割に当たる4万8千戸が被災し、10万人以上の死者を出した（3万から10万と資料により異なる）と伝えられる大惨事だった。延焼面積、死者数共に江戸時代最大で江戸の三大火の筆頭に挙げられている。

この大火の鎮圧に当たったのが正之公で、被災者救済のために6カ所まで7日間の炊き出しを行った。「犠牲者をそのままにしておくことはできない」と、幕府の費用で埋葬や供養を実施した。

浅草にあった幕府の米蔵に火が迫った際には「消火を手伝った者は自由に米を持ち出してよい」と発令。民衆と協力して見事米蔵への延焼を防ぎ、米蔵を守った。民衆が持ち帰った米は、そのまま被災者の救済に回り、まさに一石二鳥の結果となった。

火災後は、大名、旗本や御家人だけでなく、町人も対象とした家屋再建費用の給付を実施。身分制社会の中で、格の差は

の江戸城天守閣跡のように石垣だけが残った。

民衆の生活安定を第一に考えた正之公の政策によって、そのお金は全て民衆のために、町の復興のために使われた。

玉川上水の開削

民の暮らしを第一に考えたのは、何も災害時だけではない。明暦の大火からさかのぼること3年、急激な発展と人口増加を遂げる江戸では飲料水不足が深刻化していた。そこで正之公は水不足解消のため、玉川上水の開削を計画した。

多摩川の水を江戸に引き込むという、当時としては大規模な工事。膨大な費用に幕閣からは反対意見も出た。しかし、江戸市民の生活のためには水が必要だという正之公の主張が受け入れられ、玉川上水は完成したのだった。

常日頃から民衆を第一に考えてきた正之公は、明暦の大火という非常時にも、その後の復興期にも見事なリーダーシップを発揮した。

地域での消火設備や日常の防火体制の強化、地域住民の連帯感の醸成。これらの教訓が、大震災後の現代に生きる私たちに求められているのではないかと。



江花 俊和 さん

猪苗代の偉人を考える会会長のほか、猪苗代山岳会長も務める。歴史にも自然にも詳しい猪苗代町の達人

していく中でも、反対した老中たちをことごとく説得してしまつた。それによつて周りも「正之公の言うことは正しい」となる。周囲から認められる実力を持つていたということだ。

お寺や私塾が中心だった頃に、日本で初めて、身分を問わず学問を学べる稽古堂を造つた。それが同じく日本初の藩校「日新館」の建設につながつた。また、90歳以上の老人には、老齡扶持として米を支給するなど、福祉

江 私たちが生誕400年記念事業を実施したのは、こうした立派な人物が、猪苗代に眠っているということを知つ



鈴木 清孝 さん

猪苗代の偉人を考える会事務局長のほか、いなわしろ民話の会会長も務める。民話の語りなどで活躍する

江 明暦の大火が起こつた時のさまざまな対応は圧巻だ。当時のあの発想ができた人は幕閣にいなかった。火災の後は、区画整理、橋の増設、上野広小路のような道路拡張など、まちづくりにも次々と手を打つた。

江 現代に正之公がいたら、復興対策などはものすごいスピードで行われていたはずだ。被災者のことを第一に考え、お金はいくらかかってもいいから、とにかくやれど。各大臣や各省庁を動かして、そんな号令を出していたと想像できる。

江 会津藩では、殖産興業にも力を入れた。商人や旅人が会津で病気になる、藩がその面倒を見るという福祉制度をつくつた。会津に行くのは安心だということ、商人や旅人がどんどん会津を訪れるようになり、藩が栄えた。

江 私たちの活動の目的は、まさにそこにある。震災からの復興にも、新しい猪苗代、新しい福島を作っていくために、正之公のような強力なリーダーが必要だ。そういう人材が今、求められている。



小椋山 六郎 さん

野口英世博士に関する著書を執筆するなど、猪苗代兼載も含めた猪苗代の三大偉人に関する造詣が深い

江 会津藩では、殖産興業にも力を入れた。商人や旅人が会津で病気になる、藩がその面倒を見るという福祉制度をつくつた。会津に行くのは安心だということ、商人や旅人がどんどん会津を訪れるようになり、藩が栄えた。

江 私たちの活動の目的は、まさにそこにある。震災からの復興にも、新しい猪苗代、新しい福島を作っていくために、正之公のような強力なリーダーが必要だ。そういう人材が今、求められている。



KOBIYAMA ROKURO

EBANA TOSHIKAZU

SUZUKI KIYOTAKA

考察 保科正之公

この町にゆかりのある偉人がいる。
郷土が生んだ偉人の遺徳・偉業を顕彰したい。
「猪苗代の偉人を考える会」は、こうして立ちあがった。
同会の中心として活躍する3人に
正之公について、この町の未来について語ってもらう

皆さんが考える正之公の魅力や優れた点とは
江花俊和さん(以下 江)
正之公の大きな功績は、幕閣の古い体質を変えたリーダーシップ。まず驚かされるのは、その発想力だ。
当時の幕閣たちは、御金蔵にある16万両を戦争のための軍資金としか思っていなかった。しかし、正之公は、明暦の大火の時にこの金を民衆の救済に当てた。長年の慣習から転換し、民衆第一の考えから、反対する幕閣を説得して成し遂げる。その発想力、素早い機転と行動力が東日本大震災後に注目されている正之公のリーダーシップだ。
小椋山六郎さん(以下 小)
時代の先を読む優れた先見性を持つていたのだろう。戦国時代から平和な時代への過渡期、民政の安定を図らなければ、幕府が危うくなるという時代の流れに気付いた。武断政治から文治政治への転換を果たした役割は大きい。
鈴木清孝さん(以下 鈴)
時代の変革の中にあつても、常日頃から勉強を怠らず、儒学、朱子学や神道と異なるものを学んで知識や人格を高めていった。それがいろいろな人から慕われた理由だ。玉川上水の建設など、新しい政策を打ち出

命を守る鍵は「地域の絆」



【DATA】一関市と旧藤沢町は9月26日に合併し、12万都市の新一関市が誕生した。藤沢町の自主防災組織率は、現在95.3%。震災直後から自治会や各種団体が、沿岸部の被災地に対する支援活動を継続中。現在も約200人の被災者を受け入れている。



倒壊した建物から町民を救出する訓練に挑む第24区レスキュー隊「Disaster Rescue Team24」

「今までの訓練は、まさにこの時のためだった」。東日本大震災の後、町民の一人は自信を持ってそう答えた。岩手県一関市藤沢町。東北地方を代表する自主防災組織として、全国にその名を知られる、同町の第24区自治会。そこには現代の正之公がいた。【取材協力＝一関市政情報課】

藤 沢町で自主防災活動への取り組みが本格化したのは8年前。第24区自治会では、17年4月に自主防災組織（以下自主防）を設置。以来、宮城県沖地震を想定した各種訓練に取り組んできた。

高い防災意識と強力なリーダーシップを持つ佐藤幸生さんの指導の下、目標を持って訓練に臨み、達成できなかったものは次回の訓練で克服する。それを毎回繰り返してきたのだ。

東日本大震災では、余震を含め震度6弱を3度も観測、本町を大きく上回る被害を受けながらも、犠牲者を出さなかった。それは、何度も何度も繰り返された訓練の成果に他ならない。徹底的にリアルさを求める同自治会の訓練は、最後までシナリオを明かさず、訓練に参加した人の中で「あなたは救助係」「あなたは炊き出し係」と役割が決まる。人が手当て、心肺蘇生、捜索や炊き出しなど、全てが現在進行形で進んでゆくのだ。

「災害時に誰がいるかなんて分からない。その場にいる人たちが、何の役割でもこなせることが大前提。いざという時のために、普段から何ができて、何ができなかったかを確認することが必要だ」と佐藤さんは力を込める。

- 1_ リヤカーを再利用した「人力救急車」は、車が通れない道で負傷者や病人などを搬送する
- 2_ 応急手当の訓練の様子。どの住民も応急手当や心肺蘇生の方法を知り、実践できるという
- 3_ 炊き出し訓練は、その日の天候や参加者の人数などによってメニューを決める

届けたり、炊き出しをしたりした。現在も継続的な支援活動を行っている。同時広域的に発生する大規模災害では、消防や行政の支援の手が届くまでには数日かかる。それまでは自力で生き延びるしかない。藤沢町は同自治会だけでなく、町内に41ある全ての自主防が、自主的に住民の安否確認や避難誘導を行った。

「自主防は組織することが目的ではない。大事なことは、災害時に、それが確実に機能するかどうかだ」と話す佐藤さん。その前提として「日頃から隣近所や地域との信頼関係を築くことが大切」と語る。

同自治会は、余った田んぼを利用して、隣接する5つの自治会と共に復興水田「がんばっ田」を開設。町内に移り住んだ沿岸

東 日本大震災では、町中のライフラインが寸断されたり、高齢者世帯を全て回って安否を確認し、避難所へ誘導した。だが、指定避難所の自治会館は強い揺れで損壊していた。外は追い打ちをかけるような雪。そこで、隣家のビニールハウスを借り、暖房器具や毛布を持ち寄り、一晩を過ごした。

「倒れない、壊れない、雪が積もったら揺らせば落ちる」。普段から、災害時にビニールハウスは利用できることを話し合っていたからこそその行動だった。翌日には地域のコミュニティセンターに米や野菜を持ち寄り、避難所を開設した。

「倒れない、壊れない、雪が積もったら揺らせば落ちる」。普段から、災害時にビニールハウスは利用できることを話し合っていたからこそその行動だった。翌日には地域のコミュニティセンターに米や野菜を持ち寄り、避難所を開設した。

特 筆すべきことは、震災翌日から壊滅的な被害を受けた沿岸部への支援活動を開始したことだ。自分たちが被災しているにもかかわらず、隣接する宮城県気仙沼市に救援物資を

部の人たちと一緒に田植えや稲刈りを行い、収穫したあきたこまち約1トンを「復興支援米」としてその人たちに配った。「こうした活動も一緒に復興を目指す気持ちを伝える、心の支援の一つ」と佐藤さんは話す。

近 年、高齢化や核家族化が進み、家庭の防災力は低下、地域の連帯感も薄れてきている。防災の基本は「助け合い」。まずは自分、次に家族、そして隣近所や地域へと、足元から支援を広げていく防災の構図が欠かせない。

震災の翌日から支援活動を開始した藤沢町の自主防。自分たちの命を守るためにも、復興を支えるためにも「地域の絆」が大切であるということを実践で証明している。

無駄のない訓練ほど無駄なものはない



第24区自治会地域防災リーダー 佐藤 幸生 さん

Profile 16年に町自治会協議会が主催した地域防災リーダー養成研修を終了し、第24区防災リーダーに。一関市消防本部消防長から消防・防災セミナー指導者の認定を受け、地域防災活動の中心役割を担っている。

訓練は「命を守るため」にある。だが、多くの防災訓練はあらかじめ想定が周知され、役割や行動が決められている。分刻みで時間が設定され、シナリオ通りに進んでゆく訓練を「真の訓練」と言えるのだろうか。

東日本大震災では「想定外」という言葉が何度も使われたが、災害にシナリオはない。リーダーがいなくても機能する自主防災組織、どんな状況でも対応できる自主防災活動が重要だ。そのためには、普段から「何ができて、何ができないのか」を知らなければならない。無駄のない訓練ほど無駄なものはない。本気で訓練に臨み、無駄や失敗を繰り返すことで、本当に必要なことが見えてくるからだ。

ビニールハウスが有効利用できることも、人力救急車の制作も、酒を酌み交わす中で出てきたアイデア。普段から地域の人とコミュニケーションを取り合い、話し合いを重ねてほしい。それこそが、地域の住民機能を最大限に生かした自主防災組織をつくることにつながるのだ。

地域との協力は必要不可欠だ



町消防団第5分団 遠藤 涼介 さん (新屋敷)

震災時は家族の無事を確認し、すぐに消防団員として活動した。地区の人にも安否確認などを手伝ってくれた。あらためて非常時には地域との協力が不可欠だと感じた

困っている人のために炊き出し

町婦人連絡協議会長 宇月 静子 さん (新北町)



震災直後は、私たちより困っている人が大勢避難していた。その人たちを助けたいと思い、炊き出しに参加した。その時に避難していた人とは、今でも交流が続いている

復興への鍵も「人との絆」

民衆の暮らしを第一に考え、会津藩はもとより、国中に民政を敷いた正之公。人間一人一人が大切だということ、人と人とのつながりが大切だということ、正之公の時代から変わらない。きっと、これからも！。

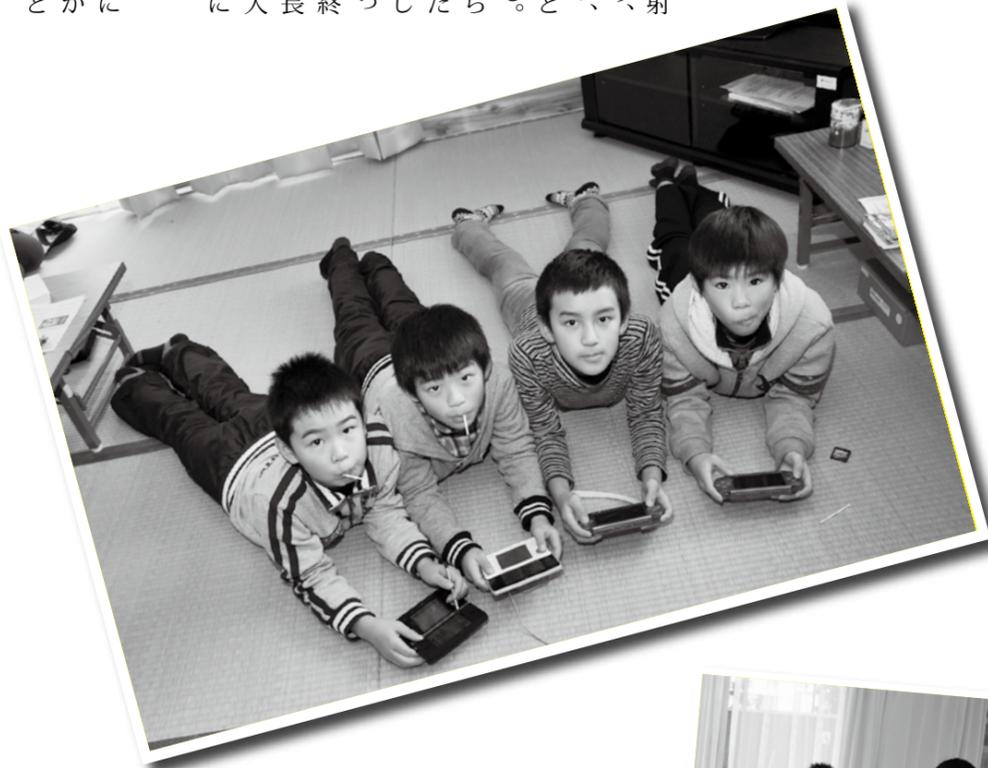
東 日本大震災で震度6強を観測し、その後の原発事故によって避難勧告が出された双葉町。同町では、全町民が町外に避難を余儀なくされ、県内の市町村や埼玉県加須市などで生活している。

町内川桁に同町が建設した仮設住宅には、10月から8世帯が入居。本町から復興を目指している。

会 田城行さん、美由紀さん宅はその一軒。猪苗代での暮らしを決めた理由は「二人の子どもたちの生活を考えた」だった。

「4月下旬からリステル猪苗

代に完成した仮設住宅には、同じような子どもが



写真上 仮設住宅内に設置された談話室は、放課後の子どもたちが勉強をしたり、遊んだりするスペースとしても使用されている。仮設住宅近くに住む大坂瑠偉さんは「家の近所に友達が増えてうれしい」と話す。この日はたまたま4人の同級生が遊んでいた。左から青木大知さん、松木伶大さん、大坂さん、会田拓矢さん（共に長瀬小4年）
写真下 昔懐かしい遊び「輪ゴム飛ばし」で遊ぶ4人。掛け声は「ウソップ ワゴーム」？

もと双葉町の小学校以来の知り合いだが、現在は仮設住宅の自治会として新しい近所付き合いが始まっている。

「双葉町や学校の情報などを共有できて役立っている。親戚や知り合いがいらない土地で、自分たちだけだったらどんなに心細かったか。地域の付き合いの大切さを感じている」と話す会田さん。

「これから冬を迎え、雪の多い季節になるので、住宅の近所の人や防犯パトロールの人なども心配して声を掛けてくれた。皆さん優しいですね」と笑顔をみせる。地域との交流は、自治会以外へも少しずつ広がりをみせている。

には、連帯責任や相互監察などで、町村の自治や取りまとめを強化する狙いがあった。しかし、同時に相互扶助の目的があったことも忘れてはならない。

五人組から隣組へ、隣組から行政区・自治会へ。時代の移り変わりとともに、その名称、役割や組織構成は変化した。人と人が互いに助け合うことの重要性に変わりはない。

福島県の復興のためには、沿岸部と内陸部が一体となって取り組むことが不可欠だ。それなくして復興は語れない。

県民全員が「福島県は復興した」と自信を持って言えるその日まで、復興支援への取り組みは続く。この町から復興を目指す新しい仲間との近所付き合いは、一番身近な復興支援。決して特別な事ではない。

地域の皆さんの安全安心に努めていく



猪苗代警察署 長瀬駐在所
福田 真也 さん

東日本大震災に派遣され、浪江町などでの捜索活動を行った後、5月から猪苗代警察署長瀬駐在所に赴任した。

川桁に「猪苗代町上川原応急仮設住宅」が完成し、8世帯が入居した。皆さん穏やかな人ばかりだが、ここに避難するまでの間には、辛いこともたくさんあったようだ。同じ福島県民として、そして警察官として、皆さんが犯罪に遭わず、安心して暮らせるように訪問活動などを続けていきたい。

これから猪苗代は厳しい冬を迎える。新しくこちらに来た皆さんにとっては、慣れない雪道の運転や雪かたしなど心配は尽きない。いわきナンバーの車両には車間距離を十分取るなど、思いやりのある運転をしてほしい。まったく知らない土地での暮らしで、不安を抱えている人も多い。町内の皆さんも共に助け合ってほしい。この町には、それができる下地があると感じている。

人間の力では、自然災害の発生を止めることはできない。しかし、そこから力を合わせて立ち上がることはできる。一人一人が、できることを精いっぱいすることが大切だ。

警察では訪問活動、警戒活動のほかには交通事故や山岳遭難の防止、雪道の運転方法などの広報や指導などに努め、地域住民の安全安心を守っていく。

新しい体験を楽しみながら生活していく



会田 美由紀 さん
(川桁、双葉町出身)

震災後、すぐに避難所に移動した。次の日に避難命令が出され、取るものも取らずに浪江町に避難、以降、本宮市、埼玉アリーナやリステル猪苗代などを経て、ここでの生活が始まった。

原発の近くに住んでいても、原発事故が起こった時や内部被ばくなどの危険性について、一

度も説明を受けたことはない。避難場所も事故の経過とともに二転三転した。せめて、災害時の避難についての想定くらいできなかつたのかと悔しく思う。

これから先がどうなるかは、町の方針が定まらないと分からないので、双葉町にはそれを急いでほしいと願う。

家族は全員無事だった。子どもたちは新しい友達が増え、いい経験をしている。会津や郡山などに出掛けること、これからやってくる冬の暮らしも新しい体験だ。そうポジティブに捉えて、今を楽しみながら生活していこうと思う。



福島復興の 羅針盤に

私たちの命を守るために、
大切な家族の命を、そして地域を守るために
必要な事は、正之公の時代から変わっていない
みんなで同じ方向を見ていこう
私たち自身が福島復興の羅針盤に



参考文献
「保科正之の生涯と土津神社」
猪苗代の偉人を考える会発行

戊辰戦争の際に一度は消失した土津神社。しかし、それを再建したのは、正之公の教えを受け継ぎ、大切に生きてきた猪苗代の、会津の先人たち。彼らは、正之公の教えを顕彰することの大切さを知っていた。だからこそ私財を投じてでも土津神社を再建したのだ。
名君として歴史にその名を残した正之公。会津にとどまらず、幕政でも活躍したその手腕や姿勢など、私たちが学ぶところは多い。
正之公は、平時、災害時にかかわらず、民衆の命や生活を守ることを優先した。災害の状況に合わせて、前例のない施策に取り組み、多くの民の命とまちを救った。
民衆一人一人を守ることが、国力や生産力を守り、不満からの暴動を防ぐ。ひいては、それが幕府を守ることになることを知っていたからだ。

東日本大震災という未曾有の大災害に見舞われた中、正之公の生誕400年という節目を迎えた。これは単なる偶然ではない。正之公が、愛した会津の民を守ろうとしている。私たちが勇気づけようとしてくれているのではないだろうか。
震災からの復興を目指す私たちが大切にすべきことは、自分の命、家族や地域の人の命を守ること。それは、正之公の時代から何も変わっていない。

一つは、人とのつながりだ。人間は、一人では生きられない。さまざまな人との関わりや信頼関係が互いに人を生かしている。そのつながりを大切にしていくことが、復興には欠かせない。お互いを信頼し、尊重し合い、助け合うことで未来に向けて進んでいけるのだ。

そしてもう一つは、強力なリーダーを持つこと。災害時には、命を守るために何をすべきかを瞬時に考え、行動しなければならぬ。さらに想定外の災害を乗り越えるには、規格外の支援や行動が必要となる。その際に、的確な判断を下し、行動できる、正之公のようなリーダーが必要なのだ。
リーダーは一人いればいいわけではない。災害時には、全員が集まって行動できないことがある。そのためにも家族に、地域に、各コミュニティに、数多くのリーダーが必要なのだ。

正之公のような進むべき道を示す羅針盤が無数にあれば、みんなが迷うことなく復興に向かっていける。一人でも多くのリーダーを作ろう。一つでも多くの羅針盤を作ろう。正之イズムを学んだ私たちが一体となって、猪苗代という名の羅針盤になろう。

福島復興のための羅針盤に。

特集 不変の羅針盤 終わり

自治功労者表彰式・合同表彰式感謝状伝達式

受賞おめでとうございます

23年度町自治功労者表彰式は11月3日、町役場で挙行されました。自治、教育、産業、民生の分野で公共の福祉や町政に功労のあった10人を表彰、寄付などをした善行者2人に感謝し、その功績をたたえました。

午前10時から挙行された表彰式には受賞者をはじめ町、町議会、関係機関・団体の来賓など約40人が出席しました。

前後公町長が「皆さんのご功績に対し、町民を代表して敬意と感謝を申し上げます。これから町政発展のため、ご協力をお願いいたします」とあいさつをした後、有功者、功労者と善行者にそれぞれ表彰状、感謝状が贈られました。表彰に続いて、鈴木武喜町議会議長、小檜山善継県議会議員が祝辞を述べました。

受賞者を代表して磯川丑雄さん(86)が「町発展のため、各自その任務を果たすべく誠心誠意努力する」と謝辞を述べました。表彰された皆さんは次のとおり(敬称略)。

◇有功者表彰

▽町長としての功績 津金要雄
▽財産区管理委員としての功績 磯川丑雄 磯川区管理委員としての功績 本間輝男
▽財産区管理委員としての功績 鈴木庫男 財産区管理委員としての功績 小林清 財産区管理委員としての功績 原田好英
▽財産区管理委員としての功績 武藤馨

◇功労者表彰

▽有害鳥獣駆除隊員としての功績 古川四郎 区長としての功績 遠藤登美夫 交通指導員としての功績 星時雄

◇善行者表彰

町の公益のため多額の私財を寄付された功績
▽野口英世博士のふるさと猪苗代応援寄付金 阿部正吉 優れた絵画の寄贈 川原田美代子

合同表彰式 感謝状伝達式

23年度合同表彰式感謝状伝達式は11月12日、学びいなかで開催され、各種コンクールの受賞者などに賞状、感謝状が贈られました。



ポスターコンクール最優秀賞 佐久間きららさん(千里)

23年度「ごみ減量化・リサイクル推進ポスター」コンクール入選者

最優秀賞 佐久間きらら(千里)
優秀賞 渡部里胡(千里)、荒川美咲(同)、柴田菜摘(緑)
佳作 佐藤柚衣(翁島)、小泉貴弘(同)、大久保智加(千里)、星野秀正(同)、半澤ひなた(長瀬)、大槻佳乃子(千里)、高橋星那(長瀬)、大坂龍裕(同)、田母神梅香(同)

23年度「健全な社会環境づくり運動」標語コンテスト入選者

【小学生の部】
最優秀賞 涌井明穂(猪苗代)
優秀賞 佐藤美紗(緑)、目黒佑馬(長瀬)、伊藤睦(猪苗代)
佳作 遠藤混介(翁島)、佐久間きらら(千里)、佐藤福美(緑)

【中学生の部】
最優秀賞 会田聖矢(東)
優秀賞 森口栞(吾妻)、安部みずほ(東)、伊藤大和(東)
佳作 遠藤佑香(吾妻)、栗原菜穂美(東)、小野田莉奈(同)



標語コンテスト中学生の部最優秀賞 会田聖矢さん(東)

佳作 黒澤光、鈴木玲奈、齋藤千裕(すべて猪苗代)

【一般の部】
最優秀賞 篠原ミツ(神明町)
優秀賞 佐藤春子(白木城)、渡部信子(樋ノ口)、六角まゆみ(金曲)、
佳作 田中稔務(沼尻駅前)、小須田治祐(小水沢)、大桃恵美子(樋ノ口)

23年度 統計功労者表彰・感謝状受賞者

【総務大臣表彰(22年国勢調査員功績)】安部利八(湊志田)
【福島県統計協会名誉会長表彰】浅井利夫(名古屋町)、田原秀一(白津)、渡部慎一(小田)
【経済産業省所管統計調査功労統計調査員感謝状】大桃時夫(樋ノ口)



前後町長、鈴木議長を中心に受賞した皆さんで記念撮影

23年度 献血団体感謝状受賞者(敬称略)

【銀梓感謝状】
国立磐梯青少年交流の家

福島県共同募金会長感謝状受賞者

【個人の部】
・一般募金 戸田忠義、田中稔務、鈴木正夫、野口森雄、鈴木明
・歳末たすけあい募金

渡部利、遠藤修郎、渡部新司
【団体の部】
・一般募金 有限会社五十嵐自動車整備工場、猪苗代町老人クラブ連合会
・歳末たすけあい募金 神聖流東條教室、あいづ農業協同組合青年連盟猪苗代地区、有限会社三交産業



福島県共同募金会長感謝状受賞 有限会社 五十嵐自動車整備工場



第15回 猪苗代 新そば祭り

今年で15回目を迎えた「猪苗代新そば祭り」は11月12、13の両日、カメリーナで開かれました。猪苗代手打ちそばの会の名人たちが打ったつなぎなしの十割そばは、温かい「祝言そば」と冷たい「ざるそば」で振る舞われました。

県内外から訪れた4千人以上の来場者は、▽ひきたて▽打ちたて▽ゆでたて「3たて」の新そばに舌鼓を打ちました。

そばだけではなく「天ぷらの盛り合わせ」やそばがゆなども振る舞われ、その食材のほとんどは猪苗代産。来場者は、猪苗代の幸と猪苗代の元気をその舌で味わいました。

つないだ タスキ

1 アンカーを務めた遠藤康明選手(国士舘大4年)
2 1区で町の部区間賞を獲得した鈴木美姫選手(田村高2年) 3 4区半澤拓見選手(新潟大3年)から5区小川広選手(田村高1年)にリレー 4 レース終了後、ゴール前で記念写真 5 13区松崎政継選手から14区神汰輝選手(東中2年)にリレー



町の元気を 内外に発信

つなぎ無し 十割

- 1 悪天候の中、多くのお客さんが会場を訪れた
- 2 そばまつりを支える名人たちの技
- 3 ひきたて、打ちたて、ゆでたてのそば
- 4 猪苗代のそばはおいしいから好き
- 5 ステージ上ではそば口上などが披露された



第23回市町村対抗福島県縦断駅伝競争大会(ふくしま駅伝)は11月20日、白河市総合運動公園陸上競技場から福島県庁までの16区間、96・2キロのコースで開かれました。

レースでは、第1区の鈴木美姫選手、13区の松崎政継選手が町の部区間賞を獲得したほか、全ての選手が粘り強い走りを見せました。県内49チーム、約750人が参加したこのレースで、猪苗代町チームは町の部2位、総合11位と過去最高の成績を上げました。

全力を出し切り、タスキをつないだ選手たちの頑張りは、町民に元気と勇気を与えました。

第23回 ふくしま 駅伝





長瀬小が東北大会にW出場

第30回全日本小学生バンドフェスティバル東北大会(10月16日、岩手県奥州市)と第40回マーチングバンド・パトントワーリング東北大会(11月12日、山形県天童市)に出場した長瀬小学校は11月17日、報告のため町役場を訪れました。

江川浩校長とマーチング主任の小椋千恵子教諭が「目標の全国大会出場はならなかったが、教員一丸となつての指導、保護者の協力と子どもたちの頑張りで東北大会に出場することができた」と報告。

バンドマスターの渡部大輝さんは「多くの方々に支えられたことに感謝している。練習の成果は発揮できた」、副バンドマスターの佐藤美澄さんは「最後の大会でいい結果が出て良かった」と感想を述べました。報告の翌日、カメラナで開催された同バンドの発表会と移杖式では、保護者や地元の皆さんの前で見事な演奏を披露しました。



写真上 移杖式で息の合ったマーチングを見せる児童たち
写真下 東北大会出場の報告に町役場を訪れた時の様子。左から大川原副町長、渡部さん、江川校長、佐藤さん、小椋教諭、土屋教育長



野口英世博士の生誕を祝う

本町出身の世界的医学者、野口英世博士の誕生を祝う第135回誕生祭は11月9日、野口英世記念館至誠館で開かれました。誕生祭では、野口家の菩提寺である長照寺の楠俊道住職の読教、関係者らの献花に続いて、翁島小学校の4年生が唱歌「野口英世」を披露。約90人の出席者が博士の功績をたたえました。八子弥寿男館長は「博士も逆境に負けずに立ち向かった。私たちが震災に負けずに頑張ろう」とあいさつ、前後公町長、鈴木武喜議会議長が祝辞を述べました。

誕生祭に続き、野口英世博士顕彰行事の作文コンクール・少年科学賞授賞式が開催され、受賞した小中学生を表彰しました。受賞者を代表して千里小学校4年の上妻優希恵さん、猪苗代中学校2年の遠藤安也奈さんが作文を朗読、会場は大きな拍手に包まれました。



写真上 唱歌「野口英世」を歌う翁島小4年生の児童たち
写真下 作文コンクールと少年科学賞の入選者の代表に表彰状が手渡されました。写真は作文コンクール入選の桑原怜志さん(東中2年)

スクールトピックス & ニュース INAWASHIRO



一生懸命な姿に大きな拍手

町内の保育所や幼稚園では、次々と保育発表会が開かれています。猪苗代幼稚園の保育発表会は11月25日、同園で開かれ、園児ら80人が日ごろの練習の成果を披露しました。

本多勝男園長は「今、教室を見てきました。子どもたちは張り切って、そして緊張している様子です。一生懸命に練習に取り組んできた成果を見て、大きな拍手をしてあげてください」とあいさつ。

白虎隊の剣舞や年長組全員参加の合奏「大きな栗の木の下で」「きらきら星」などに続き、リズム体操の「なるうげニンジャ なるるげニンジャ」「会いたかった」、オペレッタ「アリとキリギリス」「金のがちょう」などが披露されました。

踊りや劇に取り組む園児らの一生懸命な姿に、会場を埋めつくした保護者から大きな拍手や歓声が送られました。



写真上 年長組の園児らによる合奏「大きな栗の木の下で」と「きらきら星」
写真下 軽快なダンスと華麗なアクションを見せた「なるうげニンジャ なるるげニンジャ」



合格目指し粘り強く頑張れ

J A あいづから町内3中学校の3年生へ「合格祈願米」を贈る贈呈式は11月24日、役場正庁で開催されました。

この米は、会津若松市神指町の水田に会津若松市立第六中学校の生徒約100人が手植えをし、収穫後は会津美里町の文殊院清龍寺で祈祷をしたコシヒカリ。J A あいづの五十嵐孝夫代表理事専務は「会津の主要な生産物である米を食べて、粘り強く合格を勝ち取ってほしい」と生徒らを激励、各校の代表と校長などに人数分の米を手渡しました。

前後公町長、土屋重憲教育長も「子どもたちは町の未来。一人でも多くの合格を願う。健康に注意して頑張ってください」と生徒を励ました。

生徒を代表して東中学校の古川公望さんが「しっかりと体調管理をして、粘り強く勉学に励みたい」とお礼と決意の言葉を述べました。



写真上 左から猪苗代中学校の小板橋成彦さん、吾妻中学校の金作渚さん、東中学校の古川公望さん
写真下 祈願米を受け取る古川さん。最後に生徒を代表してお礼の言葉を述べました



見祢地区で新そば祭り開催

地区住民が3たての新そばを堪能



コミュニティセンターは満員御礼

11月に入り、町内の各地区で新そば祭りが開催されました。第10回見祢結乃村新そば祭りは11月27日、町内見祢地区の見祢コミュニティセンターで開催され、地区住民や通りすがりの観光客などが新そばを堪能しました。見祢地区と地域ぐるみで交流のある横浜市栄区から「NPO法人おたがいさまねっと公田町団地」のメンバー4人も駆け付け、地元農産物の販売のお手伝いやそば打ちなどで交流を深めました。同法人の佐藤保司専務理事は「見祢地区とは震災前からの付き合い。横浜に戻ったら風評被害解消のため、PRをしていく」と笑顔で話しました。

冬を控え防火の誓い新たに

県消防協会猪苗代支部が秋季検閲



検閲官などによる通常点検を受ける消防団員ら

県消防協会猪苗代支部(土屋孝彦支部長)の秋季連合検閲は10月30日、猪苗代小学校グラウンドで実施され、猪苗代町、磐梯町両消防団から502人の団員が参加しました。

団員たちは、猪苗代町役場を出発し中央商店街を行進した後、猪苗代小学校グラウンドに到着。通常点検、規律訓練や分列行進などをきびきびとこなし、防火の誓いを新たにしました。

訓練終了後は、長年にわたり消防団活動に尽力した団員らをたたえ、感謝状の贈呈、功績章、永年勤続章や精進章の表彰も執り行われました。

佐藤英一郎さんに知事表彰

自然保護指導員の功績をたたえる



役場に報告に訪れた佐藤さん

県が主催する平成23年度各種功労者知事表彰式は11月18日、福島市の杉妻会館で開催されました。本町からは自然保護功労者として佐藤英一郎さん(木地小屋)、社会福祉功労者として石澤喜一郎さん(新町)、交通安全功労者として長谷川庄英さん(西久保)、優良体育団体として猪苗代中学校バドミントン部(富岡第一中学校バドミントン部)が受賞しました。

佐藤さんは同21日、町役場を訪れ、前後町長に受賞を報告。「指導に当たる仲間を代表していただいた賞だと思っている。これからも頑張って活動を続けていく」と抱負を述べました。

歴史探訪「あしながてなが」

土津神社などを散策し、歴史学ぶ



土津神社の奥の院を訪れた参加者ら

歴史探訪「あしながてなが」第2弾、鶴峰城址と土津神社は11月8日、現地で開催され、約50人が参加しました。生涯学習課の兼田芳宏主任主査が講師を務め、鶴峰城址の史跡や土津神社の古代思想などについて説明。参加者らは現地を散策しながら町の歴史について学びました。この講座は、祖先が大切に築き上げてきた町の由緒ある歴史・文化・民話などに、体感を通して(足を運び、目で眺め、手を触れ、耳で聞きとり、何かを感じ取る)触れ、次世代にその思いを継承しようという事業の一環として実施されたものです。

増改築工事中の安全を祈願

いなわしろホームで安全祈願式典



くわ入れをし、工事の安全を祈願する矢吹理事長

町内の特別養護老人ホーム、いなわしろホームの増改築工事安全祈願祭は11月24日、現地で執り行われました。

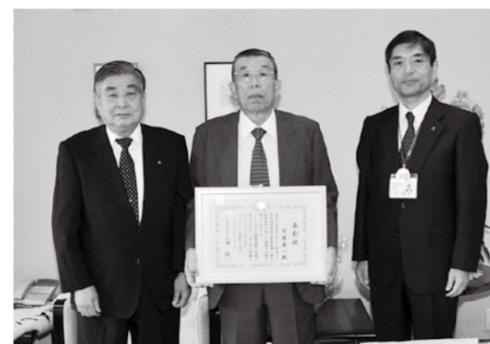
祈願祭には関係者約30人が出席。同ホームを運営する社会福祉法人猪苗代福祉会の矢吹孝志理事長らがくわ入れをした後、関係者が玉串をささげ、工事の安全を祈願しました。

矢吹理事長は「高齢者が増えていく中で、町の高齢者福祉の向上のため尽力したい」とあいさつ。前後町長、小檜山善継県議、鈴木武喜町議会議員らが祝辞を述べました。

同ホームでは、今回の工事で30床の増床を予定しています。

納税制度の普及活動に感謝

常盤嘉一さんが税務署長表彰受賞



左から前後町長、常盤さん、齋藤税務課長

会津若松税務署が主催する平成23年度納税表彰式は11月11日、会津若松市のホテルニューパレスで開催され、本町から出席した県納税貯蓄組合連合会理事の常盤嘉一さん(樋ノ口)が、三澤隆会津若松税務署長から表彰状を手渡されました。

常盤さんは同16日、町役場を訪れ、前後町長、齋藤憲郎税務課長に受賞を報告。「私個人というよりも納税組合連合会を代表していただいた賞だと思っています」と話しました。

報告を受けた前後町長は「受賞おめでとうございます。今後も納期内納税へのご協力をお願いします」とお祝いを述べました。

子どもは風邪をひきやすい？

～ 風邪予防のポイント～

風邪の原因のほとんどはウイルスによるもので、そのウイルスは200種類以上あると言われてます。ウイルスは、普段から私たちの周りに存在し、身体の中にも入ってきています。

しかし、ほとんどの場合は、身体に備わっている免疫力(体内に入ったウイルスや細菌、異物などから自分の身体を守る力)によって、軽いせきや鼻水が出るくらいで済んでいます。

子どもの場合は、免疫を獲得している途中なので、大人に比べて風邪をひきやすく、重症化しやすいのです。風邪を重症化させないためには、普段から免疫力を高めることが重要になります。

冬を迎え、暖房などで室内が乾燥しがちな環境にあるため、ウイルスが空気中に漂いやすくなっています。喉も乾燥するので、たんなどによって異物(ウイルス)を外へ出そうとする働きも低下します。風邪を予防するためには、生活環境を整えることも重要だと言えます。

風邪の予防のために心がけたいこと

①免疫力を高める

・栄養のある食事
免疫力を高めるためには、エネルギー源となる炭水化物(ご飯やパンなど)、肉・魚介類、卵類、大豆製品(納豆や豆腐など)や乳製品に多く含まれるたんぱく質、野菜や果物などのビタミンを取ることが大切です。

たんぱく質は、免疫力の元になる抗体(ウイルスなどの異物を身体から追い出すためにできる対抗物質)をつくるのに役立ちます。ビタミンには、私たちの身体の代謝を助け、身体の機能が正常に働くよう調整する役割があります。

子どもがたくさん食べないからといって、好きなものばかりを与える、栄養バランスが崩れるだけでなく、好き嫌いの原因をつくることにもなります。食事は量ではなく、バランスの良さを考えることが大切です。

旬の野菜は栄養が豊富なので、ぜひ食べてほしい食材です。



「寝る子は育つ」。子どもには十分な睡眠を

す。大きさや味付けを変える、料理を子どもの好きなキャラクターの器に盛るなど、工夫をしてみてもいいでしょう。

・十分な睡眠
「寝る子は育つ」という言葉があるように、成長を促す成長ホルモンは睡眠中に分泌されています。小学校に入るまでの子どもでは11～12時間、小学生では8～10時間の睡眠が必要と言われています。睡眠不足は疲労の原因にもなりますので、子どもには十分な睡眠をとらせてください。

・適度な運動
疲労を感じない、軽く汗をかき程度の適度な運動は、免疫力を高めることにつながります。

▼問い合わせ先
保健福祉課 健康づくり業務
☎(62)2115

②空気の乾燥を防いで、生活環境を整える

・室内の湿度は、40～60%が最適と言われています。必要に応じて加湿器を使用したり、濡れタオルを室内に干したりして、湿度を調節しましょう。

・暖房時の換気は、3～4時間ごとに1回、3分程度を目安にこまめに行いましょう。

③ウイルスが身体に入るのを防ぐ

・うがい、手洗いの習慣をつけ、手を洗ったらハンカチやタオルできちんと手を拭きましよう。ハンカチやタオルを貸し借りしてはいけません。

・人ごみの中ではマスクを着用しましょう。ウイルスの侵入を防ぐとともに、鼻や口の保湿にも効果的です。

この冬は、これらのことに気をつけて、風邪をひかないようにしましょう。



お父さんに肩車の音羽ちゃん、みんな一緒に笑顔でチーズ

名前の「音」には「人生という五線譜の上で、素敵な和音を奏でてほしい」というお父さんとお母さんの願いが込められています。

佐野 音羽 ちゃん

平成23年1月生まれ
～神明町
嘉彦さん・雅美さん夫婦の長女

「ガチャッ」。玄関の鍵を開ける音が聞こえ、部屋の中を急いでハイハイする音羽ちゃん。お父さんの帰りを待ちわびていた音羽ちゃんは、リビングのテーブルにつかまり立ちをしてお出迎えです。お父さんの嘉彦さんは「自分の帰りを待っていてくれるのはうれしいですね」とにっこり。お母さんの雅美さんも「私がバイバイと言ってても平気なのに、お父さんだと泣くんです」と笑顔を見せます。

ジョイントマットをはがして噛んで遊んでいるなど、やんちゃで元気な音羽ちゃん。日中はお母さんと過ごしていますが、お風呂や寝かしつけるのは嘉彦さんが担当します。雅美さんいわく「イクメン修行中」だそうです。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。
☎(62)2111

皆さんの善意をありがとうございました

- 教育振興事業協力金として
エンジョイゴルフIN会津
(大塚修実行委員長) 50,000円
猪苗代町一般廃棄物協同組合
(大友健市組合長) 100,000円
- 災害復興支援協力金として
猪苗代スキー場組合懇親ゴルフコンペ(鈴木宣夫組合長) 52,000円
猪苗代町西山組合会
(本多努会長) 500,000円
ロイヤルカントリークラブ
(神谷信隆支配人) 50,000円
大田原ゴルフ倶楽部
(平井康之支配人) 30,000円
町民ゴルフ大会実行委員会
(渡部一男実行委員長) 200,000円
猪苗代あるこう会
(氏田勝会長) 20,000円

全会津電気工事協同組合猪苗代支部
(佐藤孝喜支部長) 78,000円
【先々月号以降の義援金】
西條紀子、猪苗代民謡会
(順不同 敬称略)



西山組合会の本多会長(中央)と青木副会長(右)

募集とお知らせ

■門松づくりに挑戦してみませんか

今年も早いもので、気がつけばもう師走。2012年の足音も近づいてきました。自作の門松を飾って新年を迎えてみませんか。初めての人でも大歓迎です。お気軽にお申し込みください。

- 日時：12月20日(火) 午前9時～正午
- 場所：学びいな 研修室D・E
- 内容と費用：①ミニ門松(30号程度1対)1,500円
②門松(110号程度1対)2,000円
- 講師：町シルバー人材センター
- 定員：①20人 ②10人
- 申し込み：12月15日(木)までに学びいな窓口にお申し込みください(申し込み時に、①か②の希望をお知らせください)。

- 左 ①ミニ門松(30号)
- 右 ②門松(110号)



◆学びいな・図書室の休館日◆

学びいなと図書室の年末年始の休館日は次のとおりです。

12月26日(月)、12月28日(水)から翌年1月4日(水)までの間、1月9日(月)

第10回「母から子への手紙コンテスト」入賞作品が決まりました

第10回を迎えた「母から子への手紙コンテスト」の審査が終了しました。

10月16日の一次選考会では、町内のお母さん76人が、応募総数1,828点もの作品の中から、51点の最終選考作品を選びました。11月1・2の両日開かれた最終選考会では、芥川賞作家で僧侶の玄侑宗久さん、エッセイストの大石邦子さん、春日居郷土館・小川正子記念館名誉館長の末利光さん、一次選考委員代表の小林光子さんの4人が厳正な審査を実施し、大賞、準大賞、郵便事業株式会社賞、10周年記念特別賞を各1点、優秀賞7点、佳作39点の入賞作品50点が決定しました。

見事、大賞を受賞した菊池孝子さん(福島県)の作品を紹介します。

■編み物教室の参加者を募集します

あなたの手元に、編みかけのものや編み方が分からなくなってしまった編み物はありませんか？

古川和子さんが講師を務める編み物教室では、全員が同じ作品を作るのではなく、一人一人の作品に合わせた指導をします。受講を希望する人や詳しい内容を知りたい人は、下記に問い合わせてください。

- 期日：24年1月11日(水)、18日(水)、25日(水) 2月1日(水)、8日(水)
- 時間：午前9時～午後3時
- 場所：学びいな 研修室
- 受講申し込み・問い合わせ先
古川和子さん(松橋) ☎(66)3339

■成人式の申し込みはお済みですか

平成24年の成人式を下記の日程で開催します。参加を希望する人で、まだ申し込みを済ませていない人は、学びいなに申し込んでください。

- 日時：24年1月8日(日) 午後2時
 - 場所：学びいな ☎(72)0180
 - 対象：平成3年4月2日から4年4月1日までに生まれた人
- ※申し込んでいなくても参加できますが、12月22日までに申し込みがない場合は、当日配布する成人式の資料に名前を掲載することができません。あらかじめ、ご了承ください。

お母さん、行って来るからとの一報を受けた時は真っ白になった。
あまりにも唐突で、気持ちの整理もままならぬ中、頑張ってきたと言いたくもなかった。
本日は放射能の中への突入なんてあり得ない、やめてって叫びそうだった。
東京消防庁への道を選んだとき、反対しとけばよかったとさえ思った。
これって、お母さんのエゴなのでしょうか。
テレビに釘付けの一日の何と長いこと。
無事であることを祈るばかり。
そう言えば謙はどら焼きが好きだった、忙しくてすっかり抱っこもしてやれなかった等、何故か遠い昔のたわいもないことが
どんどん駆け抜けていった。
「ミッシェン達成」のメールが届いた時は涙が出てしまった。
二十ミリシーベルトの放射能を浴び、決死の覚悟で任務に挑んできた一員として、自信にあふれたあなたの姿こそ、お母さんの誇り。
お疲れ様でした。
(追伸) 浴びる程飲ませつつお、待ってる。
つてお父さん言ってた。

「健全な社会環境づくり運動」 標語の入賞作品が決定

町青少年健全育成町民会議が募集した「健全な社会環境づくり運動」標語の審査が行われ、今年は510作品の応募の中から、各部門の入賞作品が決定しました。それぞれの部門の最優秀作品を紹介します。

- 小学生の部 猪苗代小学校 涌井 明穂さん
言えたかな 心の底から ありがとう
- 中学生の部 東中学校 会田 聖矢さん
あいさつで 元気あふれる 猪苗代
- 高校生の部 猪苗代高校 佐藤 美幸さん
ひとりじゃない 温かい手が重なれば
強い絆で結ばれている
- 一般の部 神明町 篠原 ミツさん
原発事故 みんなの力で復興を
今こそ示せ 会津の魂

学びいな秋まつりが開催されました

毎年恒例となりました学びいな秋まつりは11月5、6の両日(土・日)、学びいなで開催されました。今年は昨年の来場者を大幅に上回る、約1,300人が来場しました。

学びいなホールでは、体験交流協会加盟団体のステージ発表に加え、青少年メッセージ2011の各部門で最優秀賞に選ばれた加藤咲希さん(緑小6年)、小野田幸実さん(猪中3年)、難波彩香さん(猪高2年)の発表も行われました。

館内の研修室では、町主催講座受講生の作品展示や高齢者作品展が行われ、温かみのある作品の数々が、見る人を和やかな気持ちにさせていました。

外のテントコーナーでは、町赤十字奉仕団による募金活動と豚汁サービス、食生活改善推進員の皆さんによるキーマカレーの販売などのほか、山菜おこわ、焼きそばやチョコバナナなども販売され、収益金の46,230円が社会福祉協議会に寄付されました。

ライオンズカップ ジュニアサッカー大会の結果

第14回猪苗代ライオンズカップジュニアサッカー大会は11月6日(日)、町運動公園で開催されました。悪天候にもかかわらず、熱戦が繰り広げられ関係者の応援にも熱が入りました。最も活躍した選手に贈られる最優秀選手賞には、寺林裕也君(千里スポ少A)が選ばれました。試合結果は以下のとおりです。

- 優勝 千里スポ少A
- 準優勝 吾妻スポ少
- 第3位 猪苗代スポ少



写真は優勝した千里スポーツ少年団Aの選手たち



和裁、洋裁、写真、絵画やリサイクル品など、さまざまな作品が展示されました



ステージ発表のオープニングを飾った「いなわしろ天鏡太鼓」の勇ましい演奏

教育委員会コラム 〜第二十回〜

猪苗代八景と言え「金曲の落雁」「壺下の夕照」「観音寺の夜雨」「吾妻の秋月」などである。保科公のブレインの一人、山崎闇齋が、近江八景にちなみ選定したものとされている。

これとは別に、町観光協会が主催して、心に残る猪苗代の新八景を再発掘し、町づくりにつなげようとする事業が2年前に発足した。「新八景コンテスト」と題して応募が始まり、数回の審査を経て12カ所に絞られた。

最終審査会は6月22日、町の駅まるしめで開催された。記名投票による審査が行われ、1回目の投票で6カ所が決まった。あと2カ所となり、当落線上に天鏡台、白糸の滝、天神浜が同数で並んだ。最終投票の結果、天神浜と天鏡台が残った。新八景は、天神浜、観音寺川、達沢溪谷、中津川溪谷、土津神社、亀ヶ城址、天鏡閣、天鏡台の8カ所となった。

旧八景にはそれぞれ、詞書(題名)に当たる和歌が一首添えてある。
例えば「観音寺の夜雨」は【山寺の聞くに声なき夜の雨あかしかねたる枕にぞ知る】(一夜の宿に寺を訪れた旅の僧か何かが、静寂の夜、しとしと降る雨に眠りを妨げられ、あれこれ思いわずらう様子を詠んだものか?) 誠に風雅なものである。
新八景についても、絶景ポイントの説明か何かが欲しいところである。
(土屋)

役場

年末年始の役場業務のスケジュール

町役場の業務は、12月29日(木)から新年1月3日(火)まで休みになります。
 証明書などが必要な人は、早めに手続きをしてください。
 また、水道の開閉栓はできませんので、使用開始(停止)予定のある人は、早めに手続きをしてください。

休業中でも婚姻届、死亡届や火葬場の予約などは受け付けます。

▼問い合わせ先
 総務課 行政管理業務

☎(62) 2111

町民生活課 町民生活業務

☎(62) 2114

上下水道課 水道管理業務

☎(62) 5622

年末年始のごみ収集・尿くみ取り

▼ごみ収集

12月29日(木)から新年1月3日(火)までの6日間は、ごみの収集を実施しません。
 ごみ収集カレンダーで収集日

を確認してください。

▼家庭生ごみ収集

(拠点回収地区のみ)
 12月29日(木)から新年1月3日(火)までの6日間は、家庭生ごみの収集を実施しません。家庭生ごみ回収カレンダーで収集日を確認してください。

▼尿くみ取り

12月29日(木)から新年1月3日(火)までの6日間は、し尿のくみ取りをしません。早めに業者に依頼してください。依頼先は、ごみ収集カレンダーに掲載してありますので確認してください。

▼問い合わせ先

町民生活課 生活環境業務

☎(62) 2114

水道

水道管の凍結や破損を防ぎましょう

宅地内の水道管は、所有者の管理となります。防寒対策はお済みですか？

気温が0度以下になると、水道管などが凍結し水が出なくなったり、破損します。

▼水道管を凍らせないために
 ①水抜き栓で管内の水を抜く

公売

公有財産の公用車などを公売します

町民生活課が所管する公用車を公売します。車輛の車種および公売方法は次のとおりです。

▼公売車輛

- ・ジープ型軽乗用車(スズキ)
- ・平成5年式 車検切れ
- ・走行距離 10万3000km

※町名表示の削除・車検・名義変更は購入者の負担となります。外装・内装には年式に応じた錆び・汚れなどがありますので、現車を確認してください。

▼公売方法

現車を展示し、その後、入札で最高入札額者と売買契約を締結。代金入金確認後に受け渡しとなります。

▼展示期間・場所

12月14日(水)～16日(金)
 午前9時～午後4時
 役場北側駐車場
 ※町ホームページに車輛詳細掲載しています。

▼問い合わせ期間および入札参加受付期間

平成23年度 年末年始水道管修理担当割当表

担当月日	指定給水装置工事事業者	電話番号
23年12月29日	宇南山設備	(65) 2265
	小椋建設林業(株)	(64) 3329
	(有)笠間設備工業	(62) 2883
12月30日	(株)五十嵐建設工業	(62) 3861
	鈴木設備	(62) 3520
	小熊建設	(64) 2508
12月31日	金子工業(株)	(64) 2151
	佐光設備	(66) 4196
	難波設備工業所	(62) 2839
24年1月1日	渋谷建設(株)	(64) 2425
	(有)会津燃料	(62) 3229
	(有)猪苗代工務店	(62) 4645
1月2日	大栄工業(有)	(64) 2802
	(有)阿部伊三郎商店	(62) 3626
1月3日	(有)渡部住宅設備機器	(66) 2868
	本間建設	(65) 2701
	中善商店	(66) 2345
	伊藤配管工業	(62) 3018

税金

負担金や保険料などの減免について

東日本大震災で被災した人の国民健康保険 後期高齢者医療

12月14日(水)～21日(水)

午前9時～午後4時

※役場町民生活課窓口および町ホームページに入札参加申込書、入札書があります。

▼入札日・入札場所

12月22日(木) 午前10時

役場3階 正庁A

※時間厳守・郵送など不可

▼問い合わせ先

町民生活課 生活環境業務

☎(62) 2114

相談

行政相談委員に相談してみませんか

行政相談委員の定例相談を実施します。定例相談は毎月1回第3水曜日に開催しています。

▼猪苗代町行政相談委員

宮沢 重正さん(下館)

☎(66) 3995

▼開催日時 12月21日(水)、

1月18日(水)

午後1時～午後3時

▼開催場所 町役場3階日本間

▼その他 相談無料・秘密厳守

▼問い合わせ先

総務課 秘書広報業務

☎(62) 2111

(表1)【対象となる人】

要件	必要書類(いずれか1つ)
住家が全半壊、全半焼する被災をした人	罹災証明書(半壊以上)
主な生計維持者が死亡または重篤な傷病を負った人	死亡診断書、死体検案書、医師の診断書など
主な生計維持者が行方不明である人	警察に行方不明に係る届け出をしていることが確認できるもの
主な生計維持者が業務を廃止または休止した人	廃業届、異動届など
主な生計維持者が失職し、現在収入がない人 ※雇用保険受給期間中は対象になりません	離職証明書、解雇通知、収入状況申告書など
原子力発電所の事故に伴い、政府の避難指示、計画的避難区域および緊急時避難準備区域の設定に関する指示の対象になっている人	避難指示などの対象地域に住所を置いていたことが確認できるもの
特定避難勧奨地点に居住していることに伴い、避難をしている人	実際に避難をしていることを確認できるもの

制度、介護保険の一部負担金や保険料(料)などが減免になります(表1)。

【医療費の一部負担金(窓口負担)と保険料(料)の減免】

被災により、医療機関などで一部負担金(病院の窓口で支払う医療費)や保険料(料)の支払いが困難である場合は、申請により一部負担金の免除や保険料の減免などを受けられます。

平成23年7月1日以降、医療機関などで受診する際に、窓口負担の免除を受けるためには、免除証明書の提示が必要となりました。また、保険料(料)の

減免についても申請が必要となります。

【緊急時避難準備区域の解除にあたって】

平成23年9月30日に緊急時避難準備区域が解除されましたが、国民健康保険・後期高齢者医療一部負担金等免除証明書の有効期間は、現在のところ変更はありません。

国から指示があるまで、これまで同様にご使用ください。

▼問い合わせ先

町民生活課 国保年金業務

☎(62) 2114

保健福祉課 高齢者福祉業務

手当で

特別児童扶養手当

障がいのある子どものために
この手当は、身体・精神に中度または重度の障がいがある20歳未満の児童を監護・養育している人に支給されます。

【次のような場合は、手当は支給されません】

- ① 手当を受けようとする人、対象児童が日本にいない場合
- ② 児童が肢体不自由児施設・知的障がい児施設などに入所している場合
- ③ 児童が障がいを理由として厚生年金などの公的年金を受けることができる場合

▼ 手当を受ける手続き

- 次の書類を添えて役場で手続きをしてください。
- ① 認定請求書(役場で配布)
- ② 請求者、対象児童の戸籍謄本または抄本および世帯全員の住民票
- ③ 所定の診断書(療育手帳「A」および身体障害者手帳「1・2・3級」の場合は、その写しで診断書を省略できる場合があります)

- ④ 通帳の写し
- ⑤ そのほか必要な書類

▼ 手当の支払い

提出された書類を審査し、県知事が認定します。認定されると、請求した月の翌月から3回、4カ月分の手当が支給されます。

▼ 手当の月額

- ・ 1級 50,550円
- ・ 2級 33,670円

▼ 支給制限

受給資格者およびその扶養義務者などの所得が限度額以上ある場合は、その年度(8月から翌年7月)は手当の支給が停止されます。

▼ その他

障がいの種類や程度、所得制限限度額など手続きに関する詳細については、左記までお問い合わせください。

▼ 問い合わせ先

県児童家庭課

☎ 024(521)7176
保健福祉課 社会福祉業務

☎ (62) 2115

掲示板

告示

・ 第142号「配当計算書の公

公告

- ・ 第147号「平成23年度町県民税3期督促状の公示送達について」(税務課収納業務)
 - ・ 第148号「延滞金督促状の公示送達について」(税務課収納業務)
 - ・ 第149号「充当通知書の公示送達について」(税務課収納業務)
 - ・ 第150号「国民健康保険被保険者証無効告示」(町民生活課国保年金業務)
 - ・ 第151号「債権差押書の公示送達について」(税務課収納業務)
 - ・ 第152号「充当通知書の公示送達について」(税務課収納業務)
 - ・ 第153号「充当通知書の公示送達について」(税務課収納業務)
 - ・ 第44号「土地改良事業(維持管理)計画に伴う公告について」(農林課農林業務)
 - ・ 第45号「猪苗代町農業振興地域整備計画変更に伴う公告について」(農林課農林業務)
- ※ 告示・公告された内容については、役場前掲示板をご覧になるか、それぞれの担当課に問い合わせください。

平成24年 2月1日 (水)

平成24年 経済センサス 活動調査

地域の未来づくりにも役立っています。

日本経済の「いま」を
教えてください。

「経済の国勢調査」です。全国すべての企業・すべての事業所が対象です。

調査票は平成24年1月末日までにお届けします。2月1日以降に提出をお願いします。

- この調査は、統計法に基づく基幹統計調査で、調査票に記入して提出する義務があります。
- 提出された内容は統計作成の目的以外(税の資料など)には、絶対に使用しません。

総務省・経済産業省・都道府県・市区町村

<http://www.stat.go.jp/data/e-census/campaign/index.htm>

経済センサス 検索

年末年始町内医療機関診療予定表(12月29日～1月4日)

医療機関名	日にち 曜日	×: 休診						
		12/29 木	12/30 金	12/31 土	1/1 日	1/2 月	1/3 火	1/4 水
浅見クリニック (63) 2200	午前		×	×	×	×	×	
	午後		×	×	×	×	×	
小川医院 (62) 2132	午前		×	×	×	×	×	
	午後	×	×	×	×	×	×	
かねこクリニック (72) 0660	午前			×	×	×	×	×
	午後		×	×	×	×	×	×
野崎医院 (66) 2245	午前			×	×	×	×	
	午後		×	×	×	×	×	
マリアクリニック (77) 2700	午前		×	×	×	×	×	
	午後		×	×	×	×	×	
矢吹医院 (62) 2169	午前				×	×	×	
	午後			×	×	×	×	
六角医院 (62) 2640	午前			×	×	×	×	
	午後			×	×	×	×	
町立病院 (62) 2350	午前	×	×	×	×	×	×	
	午後	×	×	×	×	×	×	

示送達について

- (税務課収納業務)
- ・ 第143号「公売通知書の公示送達について」
- (税務課収納業務)
- ・ 第144号「猪苗代町インフルエンザワクチン接種助成事業実施要綱の一部を改正する要

網

- (保健福祉課健康づくり業務)
- ・ 第145号「猪苗代町子育て支援ネットワーク会議設置要綱」(保健福祉課社会福祉業務)
- ・ 第146号「平成23年度国民健康保険税2期督促状の公示送達について」(税務課収納業務)

夜間救急 会津若松市夜間急病センター ☎(28)1199 (年中無休)
年中無休 午後6時30分～午後10時30分
ただし、12月31日～1月3日の間は特別な診察時間になります。
(午前10時～午後4時、午後5時～午後10時30分)

猪苗代警察署管内の犯罪・交通事故発生状況(平成23年10月31日現在)

1 犯罪発生状況					
町村別	年別	平成23年	平成22年	増減	増減率%
猪苗代町		64	84	-20	-23.8
磐梯町		10	14	-4	-28.6
裏磐梯		7	11	-4	-36.4
計		81	109	-28	-25.7

町村別	猪苗代町	磐梯町	裏磐梯	
罪種別	23年	22年	23年	22年
窃盗犯計	55	68	9	7
空き巣		2		4
金庫破り				
事務所荒らし				
出店荒らし	4	1	1	
倉庫荒らし		2		
侵入盗その他	2	2	1	1
置き引き			1	
車上ねらい	5	6	1	2
部品ねらい	1			
脱衣場ねらい	3	3		
自販機ねらい		4		
万引き	14	13		
職場ねらい		2		
さい銭盗	1	2		
畑荒らし				
スキー・スノーボード盗	7	4	2	7
非侵入盗その他	7	20	4	1
自動車盗		2		3
オートバイ盗				
自転車盗	11	5	1	
その他の乗り物盗				
暴行・傷害		2		1
詐欺・横領	3	3		
遺失物等横領		2		
器物損壊	4	7		2
その他の刑法犯	2	2	1	1
総計	64	84	10	14
増減			-20	-4

◎万引きや車上ねらいが発生しています。地域一体となって防犯意識を高めましょう。車を離れるときは確実に施錠し、荷物を車内に残さないことを心掛けましょう。

2 交通事故状況					
死亡事故	1	0	0	0	0
増減	1		0		0
人身事故	60	61	5	12	1
増減	-1		-7		-4

◎PM4ライトオン。夕暮れ時の事故が目立つ季節です。早めにライトオン！
◎歩行者の皆さん。夜は反射材を着用し、光り輝く目立つ格好で歩きましょう。

申告

本年の申告書作成会場は会津ロイヤルプラザ

税務署では、所得税や消費税、贈与税の申告書の作成や所得税の還付申告書の作成をするための会場を開設します。

●開催日時 2月1日(水)～3月15日(木) 午前9時～午後4時(土・日・祝日を除く)

●開催場所 会津若松市中町3-53(野口英世青春通り)

会津ロイヤルプラザ 2階

※例年、3月に入ると大変込み合いますので、早めに来場してください。

作成会場には駐車場がありません。公共交通機関を利用してください。

税務署内には申告書を作成する会場はありません。

☎会津若松税務署 ☎(27) 4311

個人事業税の定期課税納期限が確定しました

東日本大震災の影響で、納期限の延長措置が取られ、納税通知書の発布が延期されていた個人事業税。その課税内容が確定しましたのでお知らせします。個人事業税は、県内で事業を営んでいる人が対象です。

※詳しくは下記に問い合わせください。

☎福島県会津地方振興局県税課第一課事業税チーム

☎(29) 5251

震災復興

被災者専用の電話窓口 震災法テラスダイヤル

日本司法支援センター(愛称:法テラス)では、東日本大震災の被災者の皆さんの法的支援に特化した電話窓口として、コールセンターである法テラスサポートダイヤル(仙台市)内にフリーダイヤル「震災法テラスダイヤル」を設け、本年11月1日(火)から受付を開始しました。

「震災法テラスダイヤル」は、二重ローンや相続の問題をはじめ、被災者が直面する法的な問題について、解決に役立つ各種法制度などについての情報を電話で提供するものです。フリーダイヤルを採用することによって、全国各地にいる被災者に無料で利用していただけます。

●震災 法テラスダイヤル ☎0120-078309

●業務時間 平日 午前9時から午後9時 土曜日 午前9時から午後5時

●業務内容 被災した人が直面する法的問題の解決に役立つ法制度や各種手続き、相談窓口などの情報を提供。被災によって生じた、法的問題以外の問い合わせは、

法テラス・サポートダイヤル ☎0570-078374

を利用してください。業務時間は震災法テラスダイヤルと同様です。

お知らせ

安全な冬山登山のため 入念な準備が必要です

「これから山に」という人は、事前にチェックしてみましょう。

●山の情報収集は済みましたか？
・地図やインターネットなどで登る山の特徴などを調べておきましょう。

●登山届は提出しましたか？
・入山を計画している山を管轄する警察署または警察本部に提出しましょう。

・入山時は、登山口の登山ポストなどにも提出しましょう。
・出発前に家族にも1枚渡し、行程などを知らせておきましょう。

●装備品の準備は万全ですか？
・入山する前に点検し、取扱いに慣れておきましょう。

・燃料や食料は十分準備しましょう。
・特に冬山はビバーク装備品を忘れずに準備しましょう。

・携帯電話を持って行きましょう。GPS機能付き携帯電話から110番通報をすると、通信指令室では、発信した人の位置を緯度経度で把握することができ、遭難場所の特定が容易になります。県警へもロス無く現場に向かうことができるので、迅速な救助ができます。

県警では携帯電話からの登山届受理も実施しています。このQRコードを県内の主な登山口などに、



看板ポスターと一緒に掲示しています。登山届を出し忘れて登山口に来てしまった場合でも間に合います。携帯用ホームページにアクセスしてください。

●体調は万全ですか？
入山している間に発病する人も多いようです。入山前に健康管理に注意し、体調が万全でない場合は入

山を中止し、次の機会にしましょう。

●天候の確認はしましたか？

山の天気は変わりやすいもの。当日も現地の天候を確認し、悪天候が予想される場合は、日をあらためましょう。

詳しくは、福島県警ホームページをご覧ください。

☎猪苗代警察署 ☎(63) 0110

冬季間の消火栓などの除雪にご協力ください

消防署では、火災発生時に消火栓や防火水槽を使って消火活動を行います。火災が起きたとき、小さな火のうちに消火できるよう、自宅の近くの消火栓などの除雪にご協力をお願いします。また、消火栓や防火水槽の周りには雪を捨てないでください。

12月15日～1月15日は年末年始特別警戒期間です。

☎猪苗代消防署 ☎(62) 4433

借金で悩んでいる人に 多重債務相談窓口開設

福島財務事務所では、借金を抱え、お悩みの皆さんからの相談に応じています。借金問題は、さまざまな方法で解決できます。一人で悩まずに気軽に相談してください。

●相談窓口 福島財務事務所理財課
●受付時間 平日8時30分から午後5時15分

☎福島財務事務所 理財課 ☎024(533)0064 (多重債務相談窓口直通) ☎024(535)0303 (理財課)

今月の納期	
(納期限12月26日)	
●固定資産税	3期分
●国民健康保険税	6期分
●介護保険料	6期分
●後期高齢者医療保険料	5期分
●上下水道使用料	12月分
●下水道受益者負担金	4期分

プライバシー保護のため、ホームページ掲載分の
メッセージは削除しました。ご了承ください。

※広報に氏名の掲載を希望されない場合は、窓口へ申し出てください。

町の人口

23年11月1日現在の現住人口	
人口	15,850人
世帯数	5,005戸
出生	10人
死亡	19人
転入	16人
転出	19人

編集後記

▼今月の特集では、保科正之公を取り上げた。正之公の功績を知れば知るほど、その凄さが分かる。取材する中で、いろいろな人に話を聞かせて頂いたが、こちらも負けてはいない。岩手のリーダーの言葉は、本当の訓練をやってきた男の自信にみちぎっていた。猪苗代のリーダーたちの知識と発想力は、正之公にも負けてはいないと思う。▼よく人に広報づくりは大変だろうと言われるが、こうした出会いがあるから楽しい。一番大変なのは、締め切りを延ばされる印刷会社だ。いつも本当にすみません。(大坂)

12月の献血日程

12月22日(木)
午前9時00分から午後5時00分まで
町役場で全血献血を実施します。
400ミリリットル献血にご協力ください。



みんなの美術館

12月は千里小学校のお友達作品です

Our Museum



湯澤 ^{みつ}光希さん(2年)

「かしこいウサギ」

学校の校外学習で南ヶ丘牧場に行き、ウサギを抱っこした時のことを描きました。そっとやさしく抱きあげると、ウサギはじっとしています。とてもかしこそうに見えました。



書道「街」

左利きの私ですが、習字の時だけは右手で書きます。筆を使う時は右のほうが書きやすいです。街という漢字は、3つの部分に分かれているので、バランスに気をつけて書きました。



野崎 ^ま真由さん(6年)

食生活改善推進員コーナー

～旬の野菜でカンタン料理～

No. 175

とり肉のおろしなめこ煮 (高血圧予防献立)



【材料】4人分

とりもも肉 200g^㉔・大根 輪切り6割分・オクラ 4本・なめこ 100g^㉔・小麦粉 大さじ2・A {だし汁 100cc^㉔・しょうゆ 大さじ1 1/2・みりん 小さじ2・酒 小さじ2}

【作り方】

- ① 両面に小麦粉をまぶしたとりもも肉を、オーブントースターで表面に焦げ目がつくまで焼きます。
- ② 皮をむいた大根をすりおろし、おくらはさつとゆでておきます。
- ③ 調味料Aを入れた鍋が沸騰したら、大根となめこを入れます。
- ④ ③に焼きあがったとりもも肉とオクラを加え、さつと煮ます。皿に盛り付けたら出来上がり。

【一人当たりの栄養量】 エネルギー 120kcal^㉔、脂質 2.3g^㉔、タンパク質 11.7g^㉔、カルシウム 50mg^㉔、炭水化物 12.5g^㉔、食物繊維 3.3g^㉔、塩分 1.1g^㉔

■一口メモ■

とりもも肉に焦げ目をつけると香ばしさがアップします。香ばしさも調味料の一つです。焦げも上手に利用して減塩しましょう。